

15 DX推進計画に基づき、デジタル人材に係る様々な取組を推進【福岡県北九州市】



➤ DX推進計画に基づき、民間DX人材活用、スキル別／階層別研修実施、全職員対象のオンライン研修実施など、デジタル人材の確保・育成に係る様々な取組を推進

事業の概要

- 「北九州市DX推進計画」の中で、「デジタル人材の確保・育成」を集中取組項目に設定。
- 国の制度を活用した人材の確保や、階層別研修の実施等による人材の育成に取り組んでいる。
- 全職員を対象とした人材育成プランの策定を進めている。

	取組内容
デジタル人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル区分の新設 職員採用試験に、民間企業等経験者向けのデジタル区分を新設（R4.4採用～） ○ 民間DX人材の活用 国の「地域活性化企業人」制度を活用し、民間企業のDX人材を受け入れ（R4.5～）
デジタル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ スキル別研修の実施 民間企業と連携したローコードツールのハンズオン研修等の実施により、各職場で業務内容に熟知している職員が自らシステムを内製化し、現場にフィットした業務改善を推進 ○ 階層別研修の実施 職員研修部門と連携した、新規採用、採用3年次、新任部長・課長等、階層別のDX研修を実施し、DXの考え方の浸透やデジタルリテラシーの向上を図る ○ 全職員のDX知識の底上げ 民間の研修プログラムを活用した全職員対象のオンライン研修を実施し、全職員のDXに係る知識の底上げを図る
人材育成方針	「北九州市DX推進計画（R3.12）」に基づく全職員を対象とした育成プランの策定にむけ、DX人材像・役割や育成の考え方の整理などを実施

15 DX推進計画に基づき、デジタル人材に係る様々な取組を推進【福岡県北九州市】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和2年11月に市長をトップとするデジタル市役所推進本部を設け、令和3年4月にデジタル市役所推進室を設置しました。同年12月には「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現をミッションとする「北九州市DX推進計画」を策定し、まずは市役所のDXを推進し、地域全体のDX推進につなげていくこととしています。DXに取り組む中で、デジタル技術やデータに精通した人材の確保、業務改善を推進する人材の育成が大変重要と認識しており、計画の集中取組項目の1つとして、「デジタル人材の確保・育成」を掲げ、人材の確保・育成に努めることとしました。



(北九州市)



活用した国の支援策を教えてください。

国の地域活性化起業人制度を活用しています。



課題に感じている点があれば教えてください。

階層別研修等による職員のリテラシー向上や、ローコードツールや電子申請システム等を各現場に実装できる内製化人材の育成を進めていますが、より専門・高度な人材の確保にむけ、外部人材・内部人材を問わない国や他自治体との人材シェアなど、限られた人材の有効活用などの検討も必要と考えています。また、自治体DX推進計画に掲げるスキル標準は目指すべき姿ですが、現在の自治体の状況を踏まえ、どのように目指すべき姿に向けて移行するかを丁寧に考える必要があると認識しています。



他自治体からよく質問されることを教えてください。

全庁一体でDXを推進していくための基本方針についてのご質問が多く、施策検討・企画の最上流の早い段階から、デジタルを前提に考える、デジタルファーストの考え方の周知徹底を図っている旨を回答しています。



今後の展望を教えてください。

引き続き階層別研修や、民間企業との連携協定に基づくスキル別研修などを実施するとともに、DX人材像・役割や育成の考え方等の整理を行い、全庁で体系的な人材育成を進めていきます。



☆担当：北九州市 デジタル市役所推進室 ☆


【参考情報】 北九州市人口：93.7万人

関連URL：北九州市DX推進計画 (https://www.city.kitakyushu.lg.jp/digi/file_7187_00002.html)

受賞歴等：日経自治体DXアワード『デジタル人材育成部門』『行政業務／サービス変革部門』『地域産業デジタル化推進部門』受賞
(https://www.city.kitakyushu.lg.jp/digi/337_00026.html)

15 DX推進計画に基づき、デジタル人材に係る様々な取組を推進【福岡県北九州市】

参考資料



スローガン②「きめ細かく」「丁寧に」「考える」市役所へ

(9) デジタル人材の確保・育成

① 現状

- 情報部門(デジタル市役所推進室)における人材育成の考え方を明らかにし、従事する職員の到達点を示した「北九州市情報職員人材育成方針」を策定(H31.4)
目指すべき職員像を掲げ、業務分類ごとに求められる知識・スキルを整理し、習得にむけた研修を実施
- DX推進にむけた意識改革をはじめ、先進的なデジタル技術に関する実践的な内容など、課長級・DX推進リーダー(係長)・DX推進員(係員)ごとに階層別の研修を実施
- 職員採用試験に、民間企業等経験者向けのデジタル区分を新設し、令和4年4月1日付で5名程度の採用を予定
- デジタル技術を活用した業務の見直しのため、各職場と一緒に考え、解決していく、伴走型で支援できる外部人材の活用を推進


② 課題

- 現在の育成方針は情報部門の職員のみを対象としているため、市全体でDXを推進していくには、全職員を対象とした育成方針への改定が必要
- デジタル技術・データを日常的に使い、業務改善を推進する人材を育成するため、デジタルに関する知識、スキルのレベルや経験、職位等に応じた、体系的できめ細かな人材育成・研修の実施が必要
- 各職場を伴走型で支援できる、デジタル技術に高度な知識や経験を有する外部人材を活用するための、確保や連携のあり方の検討が必要

③ 国の動向

- 「自治体DX推進計画」において、DXの推進体制構築のための取組事項として、デジタル人材の確保・育成が掲げられている(R2.12)
- 情報系の専門的な素養を持つ人材を確保するため、国家公務員総合職試験に「デジタル区分」を新設(R4試験～)
- デジタル庁における民間人材の採用
- デジタル技術やデータ活用を通じた地域課題解決に精通した「地域情報化アドバイザー」や、「地域活性化企業人」制度の対象拡大(R3年度～)等による地域活性化の課題に対応する民間人材(デジタル人材含む)の自治体への派遣

各 論 >>> 45 >>>



④ 取組の方向性

- **人材育成**
中長期的な視点も含め、全ての職員に対する、デジタル技術・データに関する知識、スキルのレベルや経験・職位等に応じた体系的な人材育成・研修に取り組み、デジタル技術・データを日常的に使い、業務改善を推進する人材を育成
- **人材確保**
新規採用や外部人材の活用、民間企業・専門家との連携の推進など、可能な手段を組み合わせて、デジタル技術やデータに精通した人材の確保に努める

⑤ 取組内容

- **全職員を対象とした育成方針の策定**
「北九州市情報職員人材育成方針」を改定し、情報部門だけでなく、一般の職員についても、職位等に応じた目指すべき職員像や、行動指針、育成の考え方、研修の体系などを整理し、全庁的な人材育成を計画的に進める
- **外部デジタル人材の活用**
デジタル技術やデータに精通した人材を確保するため、民間企業・大学等と連携して、民間のデジタル人材を活用する国や他自治体との共同活用の可能性も探る
- **デジタル技術の知識・能力・経験や、職位等に応じた体系的な人材育成・研修の実施**
課長級・DX推進リーダー・DX推進員など、階層別のDX研修等の実施や、業務上の経験・研修の履修状況などに応じた、段階的な研修の実施など、体系的に研修を実施する

⑥ 成果目標・スケジュール

年度	R3	R4	R5	R6	R7
デジタル人材の育成	育成方針の改定		着実な職員の情報活用能力及びデジタルスキル向上		
デジタル人材の確保・活用	デジタル区分の創設	新規採用とあわせ、民間企業とも連携し、デジタル人材の確保・活用等に努める			

各 論 >>> 46 >>>

出典元：北九州市DX推進計画 (https://www.city.kitakyushu.lg.jp/digi/file_7187_00002.html)